

東日本大震災に係る米軍による支援(トモダチ作戦)

平成23年8月29日

外務省

3月11日夜、松本外務大臣からルース駐日米国大使に対し、在日米軍による支援を正式に要請。在日米軍司令部によれば、米軍は、人員約24,500名、艦船24隻、航空機189機を投入(最大時)した大規模な活動(「トモダチ作戦」)を実施した。また、食料品等約280トン並びに水約770万リットル、燃料約4.5万リットルを配布(貨物約3,100トンを輸送)した由。

1. 福島第一原発に係る支援

消防車2台(実際の放水活動で使用。)及びポンプ5基の輸送・提供、防護服・マスク99セットの提供(さらに、同種の防護服150セットを東電に提供できる状態にしていた)、ホウ素約9tの輸送・提供、米海軍のバージ(はしけ)船2隻による淡水約190万リットルの提供。海兵隊の放射能対処専門部隊(CBIRF)約150名を日本に派遣。米軍無人偵察機「グローバル・ホーク」等が撮影した写真を日本側に提供。



淡水を輸送するバージ船(U.S. Navy Photo)

2. 地震に係る支援

(1) 海軍

3月13日、空母「ロナルド・レーガン」他から非常食約3万食を米軍ヘリで海自艦



空母「ロナルド・レーガン」(U.S. Navy Photo)

船に輸送し、自衛隊が宮城県内に輸送する日米共同対応を実施した。その後、同空母等は、随伴する艦船とともに、岩手県沖にて、捜索救助活動や人道支援物資の輸送・提供活動を行い、4月5日迄に被災地沖海域を離れた。救難艦「セーフガード」が八戸港、宮古港で障害物除去活動を行った。4月1~3日、人員約9,000人、艦船6隻、航空機10機を投入して、自衛隊等と共に、三陸沖にて行方不明者の合同捜索救助活動を行った。

(2) 海兵隊

第31海兵機動展開隊(31MEU)を載せた強襲揚陸艦「エセックス」等が支援物資の輸送、提供を行った。31MEUの一部は、3月27日~4月6日に気仙沼市大島(宮城県)に上陸用舟艇で給電車、給水車を輸送した上で、人道支援活動を行った。



被災者と共に物資を積みおろす米海兵隊(U.S. Marine Corps Photo)



瓦礫の撤去に従事する米海兵隊(U.S. Marine Corps Photo)

(3)空軍

3月11日、横田飛行場において、民航機11機の目的地外着陸(ダイバート)を受け入れた。また、米(USAID)、英、仏等の救助チームが被災地への往復に三沢飛行場等を使用するのを受け入れた。

C130輸送機が3月15日にガソリン給油車を山形空港に輸送し、同空港での燃料供給を実施した。また、C130輸送機等が医薬品を仙台空港等に輸送し、提供した。また、無人偵察機「グローバル・ホーク」等が撮影した画像を日本側に提供した。



輸送機への荷物の積み込み(U.S. Air Force Photo)

(4)陸軍

仙台空港の復旧作業に海兵隊や空軍と共に協力した。また、損壊車輛の撤去、灯油を含む人道支援物資の提供を行った。4月10日には、約110名が自衛隊に協力して、行方不明者の捜索救助活動を行った。また、4月21日からは、数十人体制で、JR仙石線のがれき撤去作業を行った。



仙台空港での損壊車輛の撤去(U.S. Air Force Photo)



仙石線野蒜駅(宮城県東松島市)において、鉄道の復旧活動に従事する米陸軍(U.S. Army Photo)



宮城県女川町で地上に書かれたメッセージ
「THANK YOU USA」(U.S. Navy Photo)



仙台空港近くの砂浜に書かれたメッセージ
「ARIGATO」(U.S. Air Force Photo)

(参考)下記のリンク(米国政府機関のHP)も参照ください。

- ・US Embassy(在京米国大使館 HP) : <http://japanese.japan.usembassy.gov/index.html>
- ・USPACOM(米太平洋軍司令部 HP) : <http://www.pacom.mil/>
- ・USFJ(在日米軍公式 HP) : <http://www.usfj.mil/>